

Aquilion serve

紹介コーナー — 第3回 —

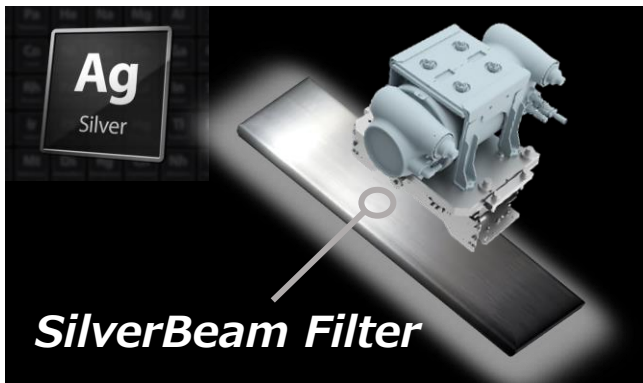


2022年4月にリリースした新80列装置の Aquilion Serve 。
第3回は“**3D Landmark Scan**”と“**ALD*1**”についてのご紹介です。

Workflow

安心・安全・簡単・快適な検査を
提供するオールラウンドCT

◆3D Landmark Scanとは？



“SilverBeam Filter”は、新たに開発した銀（Ag）素材を主体としたフィルターで、X線内の低エネルギー成分を低減させることを可能としています。

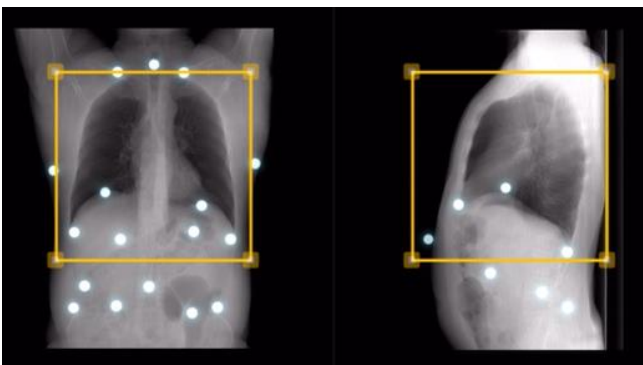
“3D Landmark Scan”とは、“SilverBeam Filter”を用いた低線量ヘリカルスキャンであり、位置決め撮影の際に使用可能です。

◆ALD*1とは？



“ALD*1”とは、“3D Landmark Scan”で得られた画像から、臓器や骨、筋肉などの位置情報を解析し、事前を選択した撮影プランを基に、適切な撮影範囲を自動的に設定する機能です。

3D Landmark Scanはヘリカルスキャンのため、
位置決め撮影の段階でアキシャルデータが取得可能！



次回は、、、
スキャン計画（Time Sequence、FOVと撮影範囲リンク等）
についてご紹介となります。

*1Anatomical Landmark Detection

*製品に関する薬機情報は以下の通りです。

一般的名称	全身用X線CT診断装置
販売名	CTスキャナ Aquilion Serve TSX-307A
認証番号	304ACBZX00001000